



## ISSCCにみる半導体技術動向

ソニー(株)半導体事業部部門長 (IEEE Fellow, ISSCC 2008 ITPC Chair) 萩原 良昭

本年度も客員教授として講義を担当させていただくことになりました。講義テーマはISSCCにみる半導体技術動向についてです。

私が最初にISSCCに関係したのは1974年です。米国 Philadelphia で開催されたISSCC1974で CCD Imager について PhD の学生論文を発表しました。翌年卒業し即1975年2月にソニーに入社し、固体素子 Imager の開発を担当。大学院で研究したテーマそのものである、固体素子 Imager の開発を担当できたことは私にとって大変幸運でした。それがいまデジカメや ROBOT VISION に代表する電子の目として脚光を浴びています。

来年7月末で私も60歳、定年を迎えますが、今だに学生時代の夢を追っています。自然と人間と共存する平和型 ROBOT (鉄腕アトム) の創造です。私は学生時代から人工知能 (AI) ROBOT に関心があり、ROBOT VISION から CCD Imager の開発に進みました。1975年から32年の長い会社生活にはいろいろ学ぶ事がありました。

Imager の出力はアナログ信号ですがそれをデジタルに変換する A/D 変換器の開発も担当しました。Imager を駆動する System LSI の開発も担当。Image 情報を記憶する MEMORY LSI に代表する記憶素子の開発とその事業化も担当。さらに挑戦は続き、MCU など A/V 機器のメカの制御用の LSI をてがけました。将来は ROBOT の腕や足の運動を制御する基礎でもあり真剣に取り組みました。毎日が学ぶこと挑戦することが多く楽しいでした。近年で

は PS や CELL 開発にも関係。GAME ROBOT にも関係します。SONY でいろいろ自分も学習し貢献できたことが幸いです。

いまでもそのおかげで、学生時代の夢を捨てることなく人工知能 (AI) ROBOT の土台基礎を学習しながら開発できる環境にいたることができてたいへん幸いです。その技術をすべて凝縮したのが ISSCC という学会です。毎年世界中の半導体集積回路の技術者が集まり夢を語り技術への挑戦を発表報告します。2007年度はその ISSCC ITPC Vice Chair として奉仕しました。2008年度は ISSCC ITPC Chair として奉仕します。

本年度は2時間×2回の講義を予定しています。1回目は2007年7月26日(木)に講義を予定しています。内容は2007年2月に米国サンフランシスコで開催された IEEE 国際固体回路学会 (ISSCC2007) にみる半導体分野の技術動向についてです。2回目は2008年2月に同じくサンフランシスコで開催される国際固体回路学会 (ISSCC2008) にみる半導体分野の技術動向と題して講義したいと思っております。



ISSCC2007 サンフランシスコでの基調講演の会場風景